

とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都文京区大塚 5-29-6
園名	ちゃいれっく新大塚駅前保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

異文化交流

<テーマの設定理由>

保育園には言葉が違うお友達やお父さんお母さんがいたり、見た目自分と違うお友達がいたり、いろいろな子がいます。それは何でだろう、という子どもたちの関心から始まりました。
自分と違うもの、人を排除するのではなく、相手を知り、いろいろな人がいることを当たり前だと思える柔軟性、多様性への興味関心を深めるため設定しました。

2. 活動スケジュール

合計4回実施（内訳：7月1回、9月1回、10月1回、11月1回）

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

株式会社シンクアロット様ご提供のせかいタッチと契約し、デジタル教材を使用したり、海外の子どもたちとオンライン交流できるよう環境を整えた。

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

映像資料を用いて海外の食べ物や文化について触れたり、ZOOM で海外の園児との交流の中で異なる言語で挨拶を交わしたり、ダンスや民族衣装などを見せてもらい興味・関心を深めました。
子ども達が興味・関心を持てるように地図や国旗、画像などの資料を用意し、自由に調べられるようにした。PC やプロジェクターを用いた事前学習では、操作は大人が行ったが、子どもの知りたいことを聞いたうえで一緒に調べていく形を取り、主体的に学べる環境を作っていき、ZOOM で交流をしている時に発言を促したり、事前学習などで子ども同士で意見を出し合う場を設けることにより関心を持たせ、積極的な参加を促しました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

活動の様子は日誌等に記録するとともに、タブレット等で写真にて記録し、保護者に対して登降園時に活動の様子を伝えるとともに、写真付きの連絡アプリで公開しました。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・子どもたちが知リやすい内容を聞きながら PC・プロジェクターを用いてその場で調べることで、より興味を持ち、主体的に探究することが出来ました。
- ・担当の保育士以外の職員との活動内容の共有が口頭のみになってしまった為、活動内容を動画等で記録し、共有するなど検討すればよかったです。
- ・様々な国の子どもとリアルタイムで触れ合うことで、子どもたちが多様性についての理解を深めることが出来て良かったです。